

2022 年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

豊橋技術科学大学

2023 年 12 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立大学法人豊橋技術科学大学動物実験規程 ・ 国立大学法人豊橋技術科学大学動物実験規程に係る所定様式を定める細則 ・ 動物実験管理体制図（安全衛生管理体制図）
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>機関内規程が適正に定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊橋技術科学大学動物実験専門委員会規程 ・ 国立大学法人豊橋技術科学大学組織通則 ・ 国立大学法人豊橋技術科学大学動物実験規程 ・ 2022 年度学内外会議及び委員会委員等一覧 ・ 2022 年度動物実験専門委員会委員名簿
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>動物実験の専門的な事項を審議する動物実験専門委員会が設置されており、基本指針に適合した運営が実施されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立大学法人豊橋技術科学大学動物実験規程 ・ 国立大学法人豊橋技術科学大学動物実験規程に係る所定様式を定める細則 ・ 豊橋技術科学大学動物実験専門委員会規程
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>動物実験計画書の立案，審査，承認，結果報告等の実施体制が適正に定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立大学法人豊橋技術科学大学動物実験規程 ・ 国立大学法人豊橋技術科学大学遺伝子組換え生物等安全管理規程 ・ 国立大学法人豊橋技術科学大学放射線障害予防規程 ・ 廃棄物処理の指針
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>安全管理に注意を要する動物実験の実施体制として「国立大学法人豊橋技術科学大学動物実験規程，国立大学法人豊橋技術科学大学遺伝子組換え生物等安全管理規程，国立大学法人豊橋技術科学大学放射線障害予防規程」が適正に定められている。なお，本学では病原体の感染動物実験，有害化学物質の投与動物実験，放射性物質の投与動物実験は行われていない。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ■ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 国立大学法人豊橋技術科学大学動物実験規程 ・ 国立大学法人豊橋技術科学大学動物実験規程に係る所定様式を定める細則 ・ サルを用いた動物実験に関する取扱について ・ 動物実験実施責任者毎の動物実験マニュアル (3名) ・ 危機管理ガイドライン・危機管理マニュアル (各種)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 国立大学法人豊橋技術科学大学動物実験規程に基づき実験動物の飼養保管施設及び実験室の設置並びに要件等が定められており、飼養保管施設及び実験室の届け出と承認が必要である。実験動物管理者についても同規程で定められており、各施設に置かれた実験動物管理者のもとで、適正な飼養保管体制を取っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

動物及び生物系廃棄物に関する全学的体制を作り、廃棄物に関する「廃棄物処理の指針」が作成されている。また、生物系実験室の届出登録を行う事で、生物系廃棄物の適正な処理を行っている。
--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊橋技術科学大学動物実験専門委員会規程 ・動物実験専門委員会議事要録（2022 年度第 1 回～第 6 回） ・動物実験審査結果通知書（2022 年度分審査 7 件） ・動物実験等自己点検書（2022 年度 8 件） ・実験完了報告書(兼)自己点検書（2022 年度 5 件） ・実験等物飼養保管状況報告書（2022 年度 13 件） ・動物実験計画書（2021 年度以前からの継続分 11 件、2022 年度新規開始分 4 件）
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>国立大学法人豊橋技術科学大学動物実験規程に基づき、委員会は適正な活動を実施している。 また、動物実験専門委員長による、機関の長との「動物実験に関する意見交換会」を実施した。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊橋技術科学大学動物実験専門委員会規程 ・動物実験専門委員会議事要録（2022 年度第 1 回～第 6 回） ・動物実験審査結果通知書（2022 年度分審査 7 件） ・動物実験等自己点検書（2022 年度 8 件） ・実験完了報告書(兼)自己点検書（2022 年度 5 件） ・実験等物飼養保管状況報告書（2022 年度 13 件） ・動物実験計画書（2021 年度以前からの継続分 11 件、2022 年度新規開始分 4 件）
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。</p>

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験を行っていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・動物実験等自己点検書（2022 年度 8 件）
- ・実験完了報告書(兼)自己点検書（2022 年度 5 件）
- ・動物実験計画書（2021 年度以前からの継続分 11 件、2022 年度新規開始分 4 件）
- ・サルを用いた動物実験に関する取扱について
- ・動物実験実施責任者毎の動物実験マニュアル（3 名）
- ・危機管理ガイドライン・危機管理マニュアル（各種）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

安全管理を要する動物実験が適正かつ安全に実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・動物実験等自己点検書（2022 年度 8 件）
- ・実験完了報告書(兼)自己点検書（2022 年度 5 件）
- ・実験等物飼養保管状況報告書（2022 年度 13 件）
- ・動物実験実施責任者毎の動物実験マニュアル（3 名）
- ・危機管理ガイドライン・危機管理マニュアル（各種）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

実験動物の逸走防止、各動物実験責任者作成のマニュアルが整備されており、適正に実施されている。また、実験動物管理者は、動物実験に関する学会、セミナーに出席し、専門家としての見識を深めており、他の動物実験実施者に対し最新の情報提供等を行っている。

<p>なお、これまで毎年度、動物実験実施者の教員、研究推進・社会連携課担当職員等が、実験動物処理施設説明及び合同慰霊感謝式に参加していたが、2022 年度においては、コロナ禍の状況により、中止となった。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物実験室・実験動物飼養施設設置承認一覧 ・動物実験等自己点検書（2022 年度 8 件） ・実験完了報告書(兼)自己点検書（2022 年度 5 件） ・動物実験実施責任者毎の動物実験マニュアル（3 名） ・危機管理ガイドライン・危機管理マニュアル（各種）
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>施設等の維持管理は、概ね適正かつ安全に実施されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。</p>

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Moodle (e-learning システム) ・令和 4 年度動物実験教育訓練の実施について（通知） ・令和 4 年度動物実験教育訓練資料 ・教育訓練実施記録書（9 名）
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>実験動物管理者による全学教育訓練及び各動物実験責任者による教育訓練が適正に実施されている。なお、2021 年度に、これまで講義形式（対面形式）で実施してきた教育訓練の実施方法を見直し、原則 e-learning システム（Moodle）等を活用して実施することとしている。</p>

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・動物実験等自己点検書（2022 年度 8 件）
- ・実験完了報告書(兼)自己点検書（2022 年度 5 件）
- ・実験等物飼養保管状況報告書（2022 年度 13 件）
- ・国立大学法人豊橋技術科学大学公式 HP（階層：大学案内>>情報公開>>動物実験に関する情報）
- ・豊橋技術科学大学 規程集（学外）HP
- ・動物実験に関する自己点検・評価報告書（2023 年 12 月）
- ・動物実験概要（2023 年 12 月）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

自己点検・評価は適正に実施され、国立大学法人豊橋技術科学大学動物実験規程第 27 条に定める動物実験等に関する情報を公開している。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

特になし

※動物実験に関する自己点検・評価は、公益社団法人日本実験動物学会が実施している外部検証事業において、外部評価を受ける機関が事前に行う自己点検・評価の方法に準じて実施した。